

女性デジタル人材育成・就労支援事業【旭川市】

個別事業費	2,714 千円
交付金額	2,036 千円

地域の実情と課題

本市では女性の就業率が4割を下回り、非正規雇用が男性の1.6倍以上と高い状況です。家庭内での家事・育児の負担が女性に偏っているほか、保育・介護サービスの不足を背景に、結婚・出産を契機に退職し、再就労が困難となる女性が多数います。女性の雇用創出や所得向上のため、時間や場所にとられない働き方の環境整備や支援体制の拡充が重要な課題となっています。

事業の特徴

- IT事務人材として活躍できる人材を育成するため、2か月間のオンライン職業訓練と就労支援からなるセミナーを実施。
- ・ 仮想空間を活用し、AI活用やMicrosoft365を中心としたオンライン職業訓練を実施。フォローアップとしてeラーニング環境を提供。
 - ・ キャリアコンサルタントによる個別面談のほか、仮想空間を活用した市内立地企業による業務説明会、トライアルワークセンター旭川による上川管内企業の求人情報提供など、就労に向けた支援を実施。

事業の効果

オンラインによる仮想空間・eラーニングによるフォローアップ体制の整備により、受講者全員が完走し、IT事務人材として必要なスキル取得することができた。また、本事業により、6人を就労に繋げることができ、その他の受講者も求職活動を続けていることから、今後、デジタル事務人材としてのスキルを活かした社会での活躍が見込まれ、一定の効果があったと考える。

目的・目標

デジタル社会に対応した女性の再就職や起業を促進するため、デジタルスキルの習得と就労支援を実施する。

	目標・KPI	目標	実績	達成率
事業目標	参加者のうち、就労につながった人数	10人 (アウトカム)	6人	60%
事業KPI	事業参加人数	20人 (アウトプット)	20人	100%

連携団体

- 【委託事業者】
- ・ヒューマンアカデミー(株)
- 【その他の連携】
- ・市内立地企業、トライアルワークセンター旭川

今後の課題

本市の求人状況と事業参加者が希望する求人とのミスマッチを解消することや、就労に対して躊躇する参加者に寄り添いながら、そのハードルを下げる支援を行うことが必要である。また、テレワークをはじめとする多様な働き方を導入する事業者を増やすことで、参加者が望む求人の確保を目指していくことが今後の課題といえる。

女性デジタル人材育成事業 ITステップ旭川2025

2か月間のオンライン職業訓練と、キャリアコンサルタントによる個別面談・市内立地企業とのマッチング・トライアルワークセンターによる上川管内企業の求人情報提供などの就労支援を実施。



オンライン職業訓練

- 令和7年9月8日～11月21日
- 25日間/75時間（50コマ）
- 仮想空間「MetaLife」を活用
- e-ラーニングによるフォローアップ実施
- 内容
Word（基礎・応用） PowerPoint
Excel（基礎・応用・関数） ChatGPT
Power Automate Outlook



就労支援

- 令和7年11月～令和8年2月
- 内容
キャリアコンサルタントによる個別面談
市内立地企業及びトライアルワークセンターの業務説明会を仮想空間で実施

結果・実績

	目標・KPI	目標	実績	達成率
事業目標	参加者のうち、就労につながった人数	10人 (アウトカム)	6人	60%
事業KPI	事業参加人数	20人 (アウトプット)	20人	100%